

# 非営利法人ニュース

2017年  
7・8月合併号  
Vol. 55



発行  
編集協力

公益総研 非営利法人総合研究所  
東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル  
TEL 03-5405-1811 / FAX 03-5405-1814

(特非)国際ボランティア事業団・(公財)公益推進協会・NPO法人設立運営センター

・・・★★ お勧めセミナー情報 ★★ ・・・

## 【1】NPOが得か？社団が得か？法人設立セミナー

\*どの法人格が向いているのか、メリットとデメリット・税制の違いなどを説明

- 講師 福島 達也  
(田園調布学園大学講師・(特非)国際ボランティア事業団 理事長)
- 日時 平成29年8月30日（水）  
午後3：00～5：00（受付2：45～）
- 会場 東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル1階会議室  
(新橋駅烏森口より徒歩8分・御成門駅より徒歩5分)
- 定員 先着8名まで 徹底指導（最少催行人数3名）
- 受講料 3,000円（1名分・税・テキスト代含む） \*事前振込

★★ 返済のない奨学金のお知らせ ★★

一度進んだ道を軌道修正して再チャレンジしたいが経済的理由により困難な学生向け

## 『逸男記念 再チャレンジ奨学金！』

○応募資格…医療・福祉・看護に関する大学又は専門学校に進学

○募集期間：2017年10月末日まで

○採用人数：2018年度の奨学生は3名程度を採用します。

○給付等：大学（専門学校）在学中 年額60万円（合計240万迄）  
を支給します。返済はありません。

※詳しくは、財団ホームページ（<http://kosuikyo.com/>）をご覧いただき、  
申込書等はHPよりダウンロードし、必要事項を記入して提出してください。

★★遺贈の窓口からのお知らせ★★

●相続する人がいない、または相続人が放棄したお金は、すべて国に没収となります。その額、毎年400億円を超えてます。

しかし、遺産を社会的に有意義な事業に使ってほしい、という気持ちを遺言書に残しておくと、法律にもとづく法定相続に関係なく、ご自分の意思を生かすことができます。この遺言による財産寄付を「遺贈」といいます。

公益財団法人公益推進協会では、「自分の名前をつけた基金」を作る遺贈によるご寄付を承っております。死後、ご自分の財産を自分の名前の基金に変え、自分の考える公益的な社会貢献活動に役立ててほしいとお考えでしたら、ぜひ、遺言書を作成し、受取先を「公益財団法人公益推進協会」とご指定ください。

◎情報満載！今月のもくじ◎

セミナー&奨学金情報	1
遺贈の窓口情報	1
非営利法人関連情報	2.3
CEOコラム	4
編集後記	4

## ☆セミナー&奨学金申込方法☆

### 【1】NPOが得か？社団が得か？

法人設立セミナー

→特定非営利活動法人  
国際ボランティア事業団  
TEL 03-5405-1813  
FAX 03-5405-1814  
メール npoinfo@iva.jp

### ■必要事項

- ①参加日
- ②参加者氏名
- ③団体名
- ④案内送付先郵便番号・住所
- ⑤電話
- ⑥ファックス
- ⑦メールアドレス

### 【2】奨学金

応募用紙等郵送先  
〒105-0004  
東京都港区新橋6-7-9  
新橋アイランドビル2階  
(公財)公益推進協会  
逸男記念 再チャレンジ奨学金  
担当 高野寛 以上

## ☆遺贈の窓口からのお知らせ

公益財団法人公益推進協会  
TEL 03-5425-4201  
FAX 03-5405-1814  
メール info@kosuikyo.com  
HP <http://kosuikyo.com>

## ★非営利法人関連情報★

### 障がいを持つ子のヘアカット 動画で紹介

NPO法人「福祉理容美容協会ほれいと」が7月1日、障がいを持つ子ども向けに行うヘアカット事業のインターネット動画配信を始めた。同NPOは2010年1月から隔月で、秋田県内の特別支援学校などに通う障がいを持つ子どもを対象にボランティアで散髪を施す事業。福祉理容への理解を広く求めるなどを目的に、利用者や保護者の承諾を得て、散髪の様子などをインターネット動画で配信する。同NPO代表で理容業を営む岩見谷真廣さんは「動画を配信することを通じて、県内外の障がいを持つ子どもたちがヘアカットを受けられる環境づくりの一助になれば」と話す。(秋田経済新聞 7月6日)

### 銘酒1杯100円 NPOが試飲スペース

大分県内の酒造組合などで構成するNPO法人「大分県地酒・焼酎文化創造会議」(井上伸史理事長)は試飲スペース「おおいた銘酒館 ゆたよい」を大分市内にオープンした。日本酒7種、焼酎10種以上を扱い、1杯100円で試飲できる。営業は週末と祝日の午後1時~5時まで。

九州の記録的豪雨災害をうけ、前週末は「クンチョウ酒造」など日田市の3酒蔵の日本酒を1杯200円で提供、この売り上げは全額義援金とする。カウンターには募金箱も設置した。「大分の酒の魅力を知ってもらうだけでなく、少しでも被災地の力になれれば」(同会議)としている。

店名は「豊かな」「酔い」を合わせたもので県立芸術文化短期大の学生が発案。のれんは県木の豊後梅をイメージさせるデザインで「ゆたよい」と描かれている。スタッフは地酒の愛好家からボランティアとして募る。銘酒館はゴールデンウイークの7日間にプレオープンしたところ1日平均250人が訪れる人気ぶり。今後は蔵元のこだわりを聞く「『蔵の語り部』養成講座」や企業のパーティーで試飲会を行う「出前展示館」などのイベントも行う計画だ。(日本経済新聞 7月11日)

### 空き家改築 NPOが宿泊と交流の場に

宮城県山元町でまちづくり支援や人材育成を行うNPO法人GRAが同町駄屋の空き家を改築して整備していた合宿研修施設「山元ミガキハウス」が完成した。同町で宿泊施設が営業するのは東日本大震災後初めて。NPOスタッフは「町内外の人の交流拠点にしたい」と夢を描いている。

宿は築約40年の木造2階、定員4人の客室が2部屋で、カフェやミーティングルームがある。7月1日のオープニングイベントには地元のまちづくり関係者ら約30人が参加。GRAスタッフからハウスの説明を受けた後、木のぬくもりがあふれる空間を見て回った。

震災後に活動を始めたGRAは2015年、施設整備に乗り出した。町内にある同名の関連農業生産法人などで研修を実施していたが、町の宿は震災で休・廃業しており参加者は町外で宿泊をしていた。

町で研修参加者が語り合える場を作ろうと、GRAスタッフの会社員豊島常吉さん(43)=東京都=が中心となって合宿施設建設プロジェクトを発足させ、地域住民の協力で里山の高台にある空き家を借りた。

改修費千数百万円はインターネットなどで広く募って確保。基礎など本格的な工事は地元の大工に依頼し、その他は延べ約300人のボランティアが手伝った。5月に旅館業の許可を取り、営業を始めた。

地元のまちづくりグループ「山元の未来への種まき会議」の岩見圭記代表(51)は「山元に人を呼びたいと活動している人には念願の施設。今後は、町の人も活用できるよう工夫してほしい」と期待した。

ミガキハウスの名は、農業生産法人GRAが手掛ける「ミガキイチゴ」に由来する。豊島さんは「ここに集つた人が成長し合えるような場にしたい」と語る。

宿は1泊4000円から。(河北新報 7月4日)

\* 内容に関しては、問合せ先に直接問合せをお願いします

### 茶道や華道が体験できる抹茶カフェOPEN

茶道や華道など日本文化が体験できるカフェ「福圓抹茶カフェ」が7月9日、京都市東山区にオープンした。高齢者の知識や経験、技術を若者に伝えることを目的にしたNPO法人京都SEI NEN団(同市下京区)が運営。京都を訪れる観光客に、茶道をはじめ華道や書道などの日本文化を、体験を通して知らうと企画した。呉服屋だった店舗を改装し、豊張りの体験スペースや抹茶を使ったスイーツなどが楽しめるカフェスペースを設けた。ボランティアの講師が、茶道や華道などの作法や心得を指導する。現在約700人がボランティア講師として登録しているとい

(産経新聞 7月10日)

### 移住定住にNPOの力活用

本年度、陸前高田市との間で移住定住総合支援業務委託契約を結び、7月から事業を開始した市内のNPO法人高田暮舎(くらししゃ)(岡本翔馬理事長)の理事会は10日、同市高田町の市役所を訪れ、戸羽太市長と意見交換した。空き家バンクなど移住定住に関するポータルサイトの運営などを担い、同市の人口拡大や移住者のフォローに努める。

岡本理事長は戸羽市長に対し、空き家情報や求人情

報、移住者の経験談などをポータルサイト上に掲載す

ることを説明。関東圏の移住イベントへの出展、ワン

ストップ相談窓口の整備、移住者の居場所づくりなど

にも取り組むとし、「過疎でもポジティブに人々や企業

を引きつけたい」と力を込めた。

戸羽市長は「若い人や田舎暮らしをしたい人が、どう

いう制度があれば移住しやすいか一緒に考えたい」と述べた。

(岩手日報 7月11日)

### 産官学連携の「テレワーク推進事業」始動

青森県内の産官学16団体でつくる「青森小惑星群共同体」が7月5日、総務省のふるさとテレワーク推進事業の採択候補先に全国19案の中から県内で唯一選ばれた。

弘前のNPO法人「あおもりIT活用サポートセンター」を中心に県内市町村や大学、県内外のIT企業など16団体が参画する同団体。

「テレワーク」は、情報通信機器などを活用し、時間や場所の制約を受けずに働くことができる労働形態。

同団体では今後、弘前市と青森市にそれぞれテレワーク拠点を整備し、都市部の企業からウェブサイト制作やデータ分析業務、ゲームグラフィック制作などの業務を受託することで、移住者やターン人材、地元求職者の労働環境を創出し、新産業振興と地元コミュニティーへのサポートに取り組む方針という。

(弘前経済新聞 7月13日)

### 中国で過激化する「路上募金活動」

中国で、路上の募金活動がエスカレートの一途をたどっている。7月初め、浙江省杭州市内の路上で、下着姿の女性2人が号泣しながら募金を呼びかける様子を捉えた写真がネット上で拡散され、話題となった。

「南国網」(7月6日付)によると、2人は地下鉄・鳳起路駅の出口付近の路上で道行く人々に治療費の募金を呼びかけていた。2人が持っていたブラカードには、「彼氏が白血病になりましたが、治療費が足りません。8万元(約12万円)の寄付をお願いします」と書かれていたとい。

20代とみられる女性は男性の交際相手で、40代とみられる女性のほうは男性の母親だといふ。また、広東省茂名市では、白昼の路上を全裸で練り歩き、募金を呼びかける家族が現れた。「80必発娛樂」によると、彼らは両親と2人の小さな男の子からなる家族で、全裸姿で路上を歩き回り、道行く人々に別のある子の病気の治療費1,500元(約2万4,000円)の寄付を呼びかけていたといふ。一家は河南省の農村から、この街にやってきたのだといふ。窮状を訴えるだけでなく、人目を引く努力をしなければ、寄付は得できないということなのだろうか?一方では、弱者を偽装して、寄付を呼びかける詐欺も横行している。

これを受けて性暴力の被害の相談にあたっている東京のNPO法人では、男性からの相談にも適切に対応できる支援員を養成し、支援を強化することになりました。

江蘇省揚州市内の路上では、学生用ジャージを身にまとった女子高生らしき少女が道行く人々に、「貧困地区に住んでいて、父親は身体障害者、母親は精神病で生活ができません」と呼びかけ、寄付を募っていた。

ところが、近くで見ると、やけに老けた少女なのだ。実は彼女は、40歳の中年女性だったのだ。住民から問い合わせられると、この中年女性は、すぐに路上の荷物を片付け、現場を去ってしまったといふ。

どんぐんエスカレートする中国の路上募金活動だが、本当に助けを必要とする人のもとに人々の善意が届けられているのか…。

(日刊サイゾー 7月12日)

### 改正刑法施行でNPOが男性支援強化へ

性犯罪の厳罰化を盛り込んだ改正刑法が7月13日施行され、この中で性的な乱暴の罪について被害者を女性に限っていた規定が見直されたことを受けて、東京のNPOでは男性の相談に適切に対応できる支援員を養成し、支援を強化することになりました。

13日施行された改正刑法では、性的な乱暴の罪について被害者を女性に限っていた規定が見直され、性別にかわらず被害者になり得るとされています。

これを受けて性暴力の被害の相談にあたっている東京のNPO法人では、男性からの相談にも適切に対応できることになりました。

このNPOでは現在、およそ10人の支援員が活動していますが、ことし9月から養成講座を開き、医師や警察官、それに性被害にあった男性などを講師として招いて被害の実態や支援策について学んでもらい、支援員を増やしたいとしています。

NPO法人「レイピクラシスセンターTSUBOMI」の望月晶子代表理事は「講座を通して専門的な知識とスキルを持つ支援員を増やしていきたい」と話していました。

(NHKニュース 7月13日)

### 木のおもちゃ美術館を運営するNPO誕生

秋田県由利本荘市町村(まちむら)にある国登録有形文化財・旧鮎川小学校を拠点に、木のおもちゃを活用した木育活動などに取り組むNPO法人「由利本荘木育推進協会」の設立総会が7月4日、同市東鮎川の鮎川駅前食堂で開かれた。今後、県の認証を受け、10月までに法人格を取得する。

校舎は市が整備して来年7月、木育拠点「木のおもちゃ美術館(仮称)」へと生まれ変わる。市は同協会を指定管理者としているので、開館までに市議会に選定案を提出する計画だ。

総会には鮎川地区の住民を中心に、市内の木工職人、おもちゃの魅力や遊び方を伝える活動をする「あきたグッド・トイ委員会」(秋田市)の代表者、元保育園長ら33人が出席。設立趣旨や定款、事業計画書などを承認した。理事長には、旧鮎川小の保存と利活用を図る活動を続けてきた「鮎の鼠実行委員会」で副会長を務める木内芳一さんが就任した。

(秋田魁新報 7月9日)

### ガン語り合う男達 大津のNPOが座談会

がん治療の体験、仲間で共有しよう。がん患者の男性たちが治療の取り組みや闘病生活の状況などを語り合う「カフェ」を大津市内のNPO法人「由利本荘木育推進協会」の設立総会が7月4日、同市東鮎川の鮎川駅前食堂で開かれた。今後、県の認証を受け、10月までに法人格を取得する。

校舎は市が整備して来年7月、木育拠点「木のおもちゃ美術館(仮称)」へと生まれ変わる。市は同協会を指定管理者としているので、開館までに市議会に選定案を提出する計画だ。

総会には鮎川地区の住民を中心に、市内の木工職人、おもちゃの魅力や遊び方を伝える活動をする「あきたグッド・トイ委員会」(秋田市)の代表者、元保育園長ら33人が出席。設立趣旨や定款、事業計画書などを承認した。理事長には、旧鮎川小の保存と利活用を図る活動を続けてきた「鮎の鼠実行委員会」で副会長を務める木内芳一さんが就任した。

(秋田魁新報 7月9日)

### おなじみ避難者支援で補助金不正受給

福島第1原発事故の避難者支援活動などに対する県の補助金約70万円を不正に受給したとして、福島署は7月5日、福島市のNPO法人「NPOひょうらい」(解散)の元副理事長、高荒弘志容疑者(60)を補助金適正化法違反容疑で逮捕した。逮捕容疑は昨年春、原発事故からの復興や避難者支援活動に対する補助金を申請する際、私的に購入した物品の領收証を添付するなどし、経費を水増しした実績報告書を県に提出し不正受給したとしている。

(毎日新聞 7月6日)

### 朝倉市ふるさと納税急増 被災地支援で

九州北部豪雨で甚大な被害が出た福岡県朝倉市に、ふるさと納税が全国から寄せられている。市によると、寄付額は、気象庁が大雨特別警報を出した7月5日から12日までの8日間で、昨年7月1ヵ月間の2.4倍に当たる約4000万円に上っている。

ふるさと納税は、応援したい自治体に寄付すると、金額に応じて居住地に納める税金が軽減される制度。朝倉市は田畠が被害を受け、寄付者にナシやモモの返礼品を贈れなくなっているが、昨年7月(約1400件)

を大幅に上回る約2500件の寄付があった。寄付者から「元張ってください」「復興に役立てて」といった応援のメッセージも寄せられているといふ。

一方、同県東峰村では、職員が災害対応に追われ、ふるさと納税の受け付けがままならない状態。ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を運営するトラストバンク(東京都)によると、福岡県と同県宗像市が代行し、同サイトを通じた村への寄付金受け付けを12日に開始。13日午後3時時点まで約300万円が集まつた。

(時事通信 7月13日)



### ネットで赤ちゃん縁組 利用に賛否

赤ちゃんを育てられない事情がある実親(じつおや)(生みの親)と、特別養子縁組を希望する養親(ようしん)をインターネット上で引き合わせるシステムの運営が、今年の夏・盆踊りで独身男女が出会い縁組企画を行います。田楽座では、5年前から、全国各地の盆踊りを行ってきました。田楽座では、5年前から、全国各地の盆踊りを行ってきました。全国から参加があり、人気の企画となっています。この企画を男女の出会いの場にしてみてはどうかと、いなし出会い系サイトに持ち掛け、縁組イベントを行いました。

田楽座は、今年、郷土芸能をさらに普及していくためのNPO法人ふるさと芸能研究所を立ち上げました。

縁組イベントはそのNPO法人が主催で行います。盆踊り縁組イベントは、8月12日(土)に、田楽座が稽古に使用している「創造の館」を会場に行われます。若い独身男女20人ずつを募集します。アルコールの提供があるため、駅までの送迎があるほか、浴衣の着付けサービスもあります。参加費は男性7千円、女性3千5百円。

(伊那谷ネット 7月6日)

### 悩む女性を支援 NPOが無料電話相談

熊本地震や東日本大震災の被災地で支援活動を行ったNPO法人「ボランティア仲間九州ラーメン党」(益城町)が7月11日、益城町古閑町に、知的障害者を雇用したラーメン店を開業した。浜田龍郎理事長(73)は「障害者が元気に働くことで、復興をアピールできれば」と期待を込めていた。

ラーメン党は1999年にNPO法人として認証を受け、被災地支援のほか、福祉作業所の運営を行ってきた。熊本地震で、浜田理事長が経営するラーメン店は全壊したが昨年4~9月、町内で焼き出しを実施した。昨夏から、今回の店を開くことを計画。日本財團(東京)から建設費の約8割にあたる約2000万円の支援を受けた。店では知的障害者約10人が働く。

開業スタッフの1人、村上貴裕さん(37)は「全國の人に食べに来てもらいたい」と笑顔。浜田理事長は「様々な人に来てもらいたい」と語った。

(読売新聞 7月13日)

このNPOによりますと、悩みや不安を1人抱える人が多く、具体的な費用や出産した人の体験談などを紹介することで課題が整理され、解決の糸口が見つかることが多いということです。

このNPOの電話相談は15年前から行われ、精神面の助言をしたり資金を援助したりして、これまでに600人余りの赤ちゃんが誕生したということです。

相談員の六笠元子さんは「必ず道は開けるので、1人で悩まず気軽に相談してほしい」と呼びかけています

(NHKニュース 7月13日)

(北海道新聞 7月5日)

# 「なぜ国民はいつも騙されるのか？」

公益総研株式会社 主席研究員兼CEO  
公益財団法人公益推進協会 代表理事  
(特非)国際ボランティア事業団 理事長 福島 達也



都議選が終わった。そう、マスコミの予想通りの結果だったのだ。これで、またまた歴史は繰り返され、いつものように時は流れていくだろう・・・。もちろん、一つの自治体の話ではあるが、国政選挙が同時に行われても、きっと同じような結果にならう。でもこれで本当によかったのだろうか？それにもしても、百合ねえは本当にうまいと思う。選挙の直前、ウルトラCを2つやったのだ。一つは、全国の注目を集めていた市場移転問題で、自民党が公約に掲げていた築地市場の豊洲への早期移転をこちらも決定し、自民党のお株を奪うことに成功。しかし、将来的に築地に市場を戻すことも同時に発表し、移転反対の人の票もごっそり奪うことにも同時に成功したのだ。もう一つは、自民党から除名されることを期待してなかなか離党しなかったのだが、自民党がこの問題を放置する作戦をとると、自民党の支持率がじりじり下がって来ると同時に自民党を離党し、都民ファーストの代表に就任。これで、自民党とは円満に離縁したのだ。あとは、いつものようにB層の投票行動を待てばよいのだ。ちなみにB層とは、ウェキペディアによると、今の時代を象徴するような愚民のこと、マスコミ報道に流されやすい『比較的』IQが低い人たちのことだ。いつの時代もB層が選挙を支配し、政治を動かしていることを存じるか？2005年の郵政民営化選挙は小泉ライオンが支持率92%を得て大勝した。2009年には政権交代選挙があつて民主党がこちらも大勝だ。そして、2012年の衆院選は、民主党に裏切られたと感づいた国民が今度は安倍ちゃんに乗っかって自民党が大勝した。いずれも、テレビを始めとしたマスコミが作り出した雰囲気にB層がまんまと騙されて乗った結果なのである。ちなみに、2014年の衆院選もアベノミクスが成功したという報道に乗せられて、またまたB層が自民党に投票したので圧勝だ。いったいいつになったら、B層の人たちは誰の影響も受けずに信念で投票するのだろうか？あれだけ民主党に期待した人たちが手のひら返して自民党に投票したのはさすがに私もショックだった。鳩山由紀夫政権ができるときの支持率は70%もあったのだが、最後は20%で終了。せめてユッキーも人間で終わりたかったらどうが、最後は宇宙人、宇宙人と後ろ指をさされていた。かわいそうに・・・。菅直人政権も最初は60%あって、最後は20%以下・・・。どんだけ、人の気持ちは変わるものだろうか？というか、マスコミに踊らされて政治をおかしくしていくのはB層であるということにいい加減気が付いてほしいのだ。B層が選挙を支配することが分かっていると、政治家もそれを利用しようとして政治をおかしくしてしまうのだ。よく、高齢者の投票率が異様に高いので、政党も高齢者向けの選挙公約ばかり並べ、結局高齢者は税金をほとんど納めないので、選挙後、社会保障費ばかりかさみ、国の借金が増え続けるという悪循環になっていることを指摘する有識者がいるが、まさにそれと同じ現象だ。つまり、B層が喜ぶような公約を並べたり、そういう手法を使えば、必ず圧勝できるのだ。今回、百合ねえの政党「自分ファースト」もとい「都民ファースト」の候補者に投票した人は、郵政民営化選挙で小泉ライオン率いる自民党に投票し、4年後の政権交代選挙で民主党に投票し、民主党に裏切られた3年後の選挙で安倍ちゃん率いる自民党に投票し、アベノミクスで踊る次の選挙でも自民党に投票し、そして今回は、都議会選挙で都民ファーストに投票したのではないだろうか？最後だけ都民だけしか投票できない選挙だが、しかし、もしかしたらそういう投票行動をしたのだとすると、あなたはまさにB層なのだ。そういう人ほど、自分は違うと主張するのだ。自分は「経済政策がうまくいっているから」とか「〇進党がひどいから他に選択肢がない」とか「外交ではそこそこうまくやっている」とか自分を納得させているようだが、結局はマスコミに踊らされているだけなのである。事実、マスコミは、日本経済はそこそこ好調だと報道しているが、実際は、ほとんどの国民が働く中小企業の給料は下がり続けているのだ。店という店は軒並みつぶれ、デパートも居酒屋もいつかなくなってしまうのではないかという現状を全く報道していない。たまに、「老人の貧困」「中年の貧困」「子供の貧困」をNHKスペシャルあたりが報道するが、それもたまにだ。B層の一番好きな言葉は何だか存じるか？「改革」だ！この言葉を並べれば票になることは、すでに大政党ならよく知っているのだ。「ぶっ壊す」「大改革」「チェンジ」・・・。これで何度も人は騙され続けるのである。ついこの前までB層は次のように考えていたはずだ。「安倍ちゃんは拉致問題や靖国問題にもごまかさずに信念をもってやってきた。売国集団の民主党から政権を取り戻してくれた。安倍ちゃんおかげで株価は2倍になった。外交もうまくいっている。憲法はアメリカに押し付けられたものだから変えるのもいたしかたない。安倍ちゃんがダメだというやつは左翼に違いない。政策がダメだというなら対案を示せ。安倍ちゃんの手法は乱暴なところもあるが、中国や北朝鮮にも毅然とした態度を示しているから偉い」と。もちろんそう考えていることが悪いとは思わない。だったら、それを信念として自民党を応援し続けるかというと、B層は違う。最近のB層はなんだかこう考えているのだ。「安倍ちゃんも頑張っているけど、ちょっと我田引水がひどすぎる。森友も加計も何だかやりたい放題のようだ。これでは北のおぼっちゃま君を笑えない。それに、「一億総活躍社会」って結局は高齢者に年金を払いたくないから死ぬまで働かせてことだし、「女性活躍」はいいことだと思うけど、「このハゲー」「バカー」って叫んだり、自衛隊を我が物顔で動かそうとするようなおばちゃんにはなってもらいたくないな」って。もし今、総選挙があったら「安倍ちゃんにもちょっとお灸をすえてやろう」という投票行動をするだろう。それがB層の宿命なのだ。そして、それを利用する政党が現れ、空気に流されるB層を、マーケティング的な手法で誘導し、徹底的にメディア対策を行い、大多数を占める大衆にウケるようなことをやる。それに対して、B層は一貫して永遠に騙され続けていく・・・。悲しい。そもそも騙されるのを辞めませんか？それか、選挙に行くのを辞められませんか？いや、もちろんあなたのことではない。私がそう言いたいのは、<2005自民・2009民主・2012自民・2014自民・2017都民ファースト>に投票したB層の人たちにである。そう考えると、K産党やK明党の支持者は偉い。絶対に曲がらないから。そうだ、これからは「特に支持政党はないわ」とか「僕はリベラルだ」なんてうそぶいている人は信用しないことにしよう・・・。そういう人こそいつでも信念を曲げてあっちこっちに行く、「改革」という言葉が大好きなB層なのだから・・・。

## \*編集後記\*

連日30度を超す厳しい暑さの中、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

夏といえば下町の風物詩、入谷の朝顔まつりや浅草のほおづき市、色とりどりの花火が夜空に舞う光の競演 - 隅田川の花火大会などがあります。子供の頃は仕掛け花火が自宅屋上から（高い建物がなかったので）見え、夏休みの宿題の絵日記にも書いた記憶があります。現在は花火業者のコンクールも行われ華やかさは格別です。そして、8月13日に行われる今年の富岡八幡祭 - 俗に言う水かけ祭り - は本祭りで地元の53基の神輿が勢揃いします。それはそれは見物です。是非、一度足を運んでみて下さい。

(タラ)